

平成30年3月30日

学校法人大阪医科薬科大学  
理事長 植木 實

## 大阪医科大学附属病院病院長の決定について

大阪医科大学附属病院病院長規則に基づき、次期附属病院長を決定したので、同規則第7条第5項の規定により下記のとおり公表する。

### 記

#### 1. 次期病院長名

内山 和久(うちやま かずひさ)

#### 2. 着任予定年月日

平成30年4月1日(任期2年)

#### 3. 選考理由及び選考過程

##### 【選考理由】

##### ・臨床研修修了医師である者について

1983年に大阪医科大学を卒業し、医師国家試験に合格後、大阪医科大学附属病院にて臨床研修を修了した医師で、本院の現病院長である。

##### ・医療の高度安全確保について

和歌山県立医科大学と本学の附属病院並びに日本外科学会・日本消化器外科学会の医療安全関係の委員を歴任しており、特定機能病院の要件見直しにおける医療安全に関する趣旨を理解し、日々の診療活動では管理者としての院内巡視に当たっている。多職種参加のチーム医療の中で報告体制を強化することで医療安全を確保・維持しようとする姿勢や医療安全を実現するために必要な資質と能力がある。

##### ・附属病院の管理運営について

本院以外での病院管理経験はないが、本院の病院長を2年経験しており、病院経営改善委員会の副委員長として病院の効果的・効率的な管理運営、健全な経営に当たり、病院の維持に腐心している。また、傾聴・即断に優れ、病院管理業務に専念し、常に非常事態に率先して対応しており、今般の「医師の働き方改革」の趣旨に則り、法人が行う様々な施策についても理解し、優れた協調性と折衝力をもって施策の実施に当たる能力を認めている。

##### ・附属病院の理念等を実現するために必要な資質能力について

医療法に基づく特定機能病院の大学附属施設としてのあり方を理解し、地域医療から先端医療までを視野に入れ、個人情報に配慮した患者サービスとしての診療のみならず教育・研究に関する知識を持っている。また、最先端医療から地域医療、災害医療まで幅広い視野をもって、附属病院・三島南病院・健康科学クリニックの一体化を推進している。

以上により、今後も継続し、更なる改革・改善を遂行するために、以下の選考過程を経て、次期附属病院長として決定した。

**【選考過程】**

- ・平成29年12月 1日（金）附属病院長予定者の選任を行うための手続きを開始する旨の公示
- ・平成30年 1月22日（月）公募要項の公示
- ・平成30年 2月19日（月）書類審査
- ・平成30年 2月28日（水）面接審査
- ・平成30年 3月 6日（火）附属病院病院長審査委員会より、適格性審査の結果、病院長候補者1名の推薦があった。
- ・平成30年 3月13日（火）理事会における承認を経て、次期病院長を決定した。

以 上

## 附属病院病院長審査委員会 委員一覧

氏 名	職 名	委員選定理由
佐野 浩一	理 事	法人組織に詳しい者
谷村 慎哉	外部理事	法律の専門家
南 敏明	診療科長	特定機能病院の医療に詳しい者
勝間田 敬弘	診療科長	特定機能病院の医療に詳しい者
西山 裕子	看護部長	特定機能病院の医療看護に詳しい者
石浦 基文	中央放射線部技師長	特定機能病院の医療機器に詳しい者
法幸 貞次	外部の有識者	患者及び地域医療に詳しい者
假野 隆司	理事長が必要と認める者	医療制度に詳しい者
鈴木 廣一	理事長が必要と認める者	法医学の専門家
中村 敏明	理事長が必要と認める者	薬学の専門家
道重 文子	理事長が必要と認める者	看護学の専門家